

## 東京支部2021年度定期総会報告

新型コロナウイルス感染拡大の中、書面決議により東京支部2021年度定期総会が開催され、議案のすべてが承認されたことをご報告します。定期総会は、以下の中で行われました。

- ・東京支部2021年度定期総会が2021年1月16日(土)13:30~14:30に行われました。
- ・今年度の定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、書面決議による定期総会とし、この結果をリモート出席した新旧役員により確認するという形の中で行われました。
- ・定期総会は、委任状出席・議案承認:31名、回答無し:1名、休会:1名(会則第19条 会員の1/3以上の出席)により有効に成立しました。
- ・リモート出席の新旧役員は、以下の通りです。
  - ・紀田幸男 ・高橋 清 ・鈴木暎夫
  - ・戸張 眞 ・須加尾 浩 ・井上武夫
  - ・太田桃子 ・山田智一 ・藤野治雄
  - ・菅澤光裕
- ・議案は、以下の1~6号議案で順次起案され、委任状・議案承認をリモート出席者により確認されました。

- 第1号議案 2020年度事業報告  
委任状により満場一致で承認
- 第2号議案 2020年度会計報告、監査報告。委任状により満場一致で承認
- 第3号議案 会則・内規一部改訂  
「新たな役員として「顧問」を置くことが出来る」とする。  
委任状により満場一致で承認

第4号議案 次期支部役員  
支部長選任選挙に基づき井上武夫氏を次期支部長とする。  
委任状により満場一致で承認  
新支部長承認後、井上次期支部長より新役員の紹介がありました。

第5号議案 2021年度事業計画(案)  
委任状により満場一致で承認

第6号議案 2021年度予算計画(案)  
委任状により満場一致で承認  
・議事終了後、井上次期支部長および、戸張前支部長より挨拶がありました

(文責:戸張 眞)

## 4年間の支部長の大役を終えて

写真の会は、いろいろあるかと思えます。プロ写真家が主催する写真の会で、先生の作品づくり・撮影技術に共感し作品の講評を受けながら撮影技術の向上を目指す会、写真を趣味とする方々が集まり写真を楽しみながら、講評会、撮影会、写真展等を通し、メンバー・講師の先生との交流を行いながら撮影技術の向上を目指す会等々。

日本風景写真協会・東京支部は後者に属する写真の会であり、全国組織で運営され、交流が出来る会です。

早いもので入会后、約19年になります。5年前から撮影会担当、そして、4年前から支部長(撮影会担当兼務)さらに、支部長最後の年は、事務局長兼務・・・運営に当たっては、毎年行われる年数回の講評会、1回の作品展、数回の撮影会だけでなく、周年行事あり、本部企画の大撮影会の開催・運営あり、カメラのPRに向けたメーカーとの取材撮影会あり・・・勿論そのための事務局運営・・・本業の仕事を行いつつ、結構、ハードな時間でした。

私が支部長を引き受けた際、メンバーとのコミュニケーションを通し、良い雰囲気の中、楽し

く参加が出来たら良いなと思っていたので、会の運営の考え方を以下の3点に置き、活動を進めて来ました。

- ・和気藹々、写真を通じた楽しい交流（風景写真を通じたコミュニケーション）
- ・双方向による撮影技術の研鑽（各自の撮影技術の向上）
- ・自由な雰囲気、自由な交流が出来る支部運営（会員数最大30名程度）

4年間、昨年のように新型コロナ感染拡大の影響を受け、悩みながら例会を中止した時もありましたが、役員・メンバー・講師の先生・いろいろな方々の協力のお陰で、大きな問題もなく運営が出来ました。活動の中では、新たなアイデアを盛り込んだ挑戦（プロジェクター活用による研究会、ベテランメンバーによる特別研究会、作品添削、支部だよりの充実等）にも取り組み、メンバーの撮影技術も向上し、会員（現在33名）も増えて来ました。

何より、和気藹々の雰囲気を築けたことは、とてもうれしいことです。

支部長となり3年半が過ぎたころ、あることから、あまり長く支部長をやると私自身マンネリ化し、役員も高齢化してくるため、支部の将来を考えるとそろそろ支部長を交代し、新たな役員体制を考えて行くべきではないかと言う気持ちが強くなって来ました。

丁度、昨年が2年間の支部長任期最後の年、多くの方から再選をと言うお言葉をいただいたのですが、いろいろ考えた末、辞退させていただきました。

今後は、新支部長を中心に役員若返りによる新たな体制づくりを目指し、4年位を目途に、さらに飛躍した支部運営を期待したいと思っています。

昨年も対応して来ましたが、特に今年は、新型コロナ感染拡大の可能性もまだ高く、会の運営のあり方を検討し、新たな例会、新たな撮影会、新たな交流の場づくりに挑戦して行く必要があるため、発想を変えた対応が要求されています。支部長を終え、支部運営にとって大切なことは何かを考えた時、メンバー一人一人への気遣い

と木目細かなコミュニケーションが重要であり、メンバー全員で楽しい支部にして行こうと言う気持ちが大切ではと思いました。

支部長を辞めた後も、今までの経験をもとに新たな役割の中で、次期支部長をバックアップし、支部の運営に協力し、東京支部を楽しい支部にして行きたいと思っています。

今後共、よろしくお願い致します。

（文責：戸張 眞）

## 2021年の東京支部運営方針

本年から、支部長の重責を担うこととなりました。メンバーの皆様のご支援のもと、精一杯支部運営に臨みますので、宜しくお願い致します。さて、本年も昨年同様、新型コロナが猛威を振るう中での支部活動になるかと思いますが、工夫をしながらこの状況を乗り切っていきたいと思っています。

本年は下記4項目の活動に注力します。

### 1. 東京の自然を求めて

来年は、東京支部の20周年記念作品展を開催することになります。同作品展では、これまで通りの撮影場所を限定しない作品と東京の自然風景を対象とした作品の2点を出して頂く予定です。来年分の作品は今年から準備しないと間に合いません。

そこで、東京の自然撮影を目的に日帰り撮影会を検討することに致しました。具体案が決まったら撮影会担当より案内いたします。

### 2. 東京支部ホームページの新設

今までFBを軸にホームページを運用してきましたが、本年は東京支部用のレンタルサーバー（Lolipop）を契約し、外部発信を強化していきます。これまでの支部だよりに加え、支部作品展の作品なども紹介していきます。

### 3. リモートでの講評会対応準備

新型コロナが猛威を振るっても講評会が進めら

れるように、リモートでの対応準備を進めます。基本的には全員が参加可能となることが目標です。

#### 4. Photoshop 相談室

一昨年メンバーの篠原雅彦さんから、Photoshopの指導が行われ、多くの方々はPhotoshopがかなり使えるようになったかとは思いますが、実際に活用してみると色々分からないことが発生しているかもしれません。あるいは、これからPhotoshopを勉強しようという方もおられるかもしれません。

そこで、微力ながら担当（井上）が、リモートで、操作についてのご相談に乗らせていただこうと思っております。やり方は、3でリモートでの講習会対応準備を進めておりますが、その手法がそのまま使えます。安心してご参加ください。（文責：井上武夫）

#### 新役員、係の紹介

支部運営方針を達成すべく、新進気鋭な下記の方々に新役員・係になって頂きました。

力を存分に発揮していただき、支部の発展に貢献して頂くことを期待しています。

- 支部長 : 井上 武夫 (役員)
- 副支部長 : 高橋 清 (役員)
- 撮影技術担当 : 高橋 清 (役員)
- 渉外担当 : 紀田 幸男 (役員)
- 事務局担当 : 井上 武夫 (役員)
  - ・広報係 (HP 担当) : 山田 智一 (非役員)
  - ・「支部だより」係 : 戸張 伸子 (非役員)
- 会計担当 : 鈴木 暎夫 (役員)
- 研究会担当 : 藤野 治雄 (役員)
  - ・研究会支援チーム (非役員)
    - A チーム : 与謝国平、須加尾浩、佐々木節子、戸張伸子
    - B チーム : 菅澤光裕、淵江昂喜、野間芳子、関水玲子
- 作品展担当 : 井上 武夫 (役員)
  - ・副担当 : 山田 智一 (役員)
  - ・補助 : 野間 芳子 (非役員)

- 撮影会担当 : 菅澤 光裕 (役員)
- 会計監査担当 : 須加尾 浩 (役員)
- 顧問 : 戸張 眞 (役員)  
(文責 : 井上武夫)

#### 新たな仲間紹介

今年から入会することになった伊藤栄一と申します。よろしくお願ひします。

蒸気機関車を追って写真を撮り始め、中学の時に写真部にいたため写歴は伊達に長いです。

現在は主に風景や野鳥、蒸気機関車を撮影しています。風景はデジタルとリバーサルフィルムを併用し。野鳥はデジタルで、蒸気機関車はモノクロフィルムで、カラーはデジタルで撮影しています。

他の写真クラブに所属していますが、そこはフィルム限定のため、デジタルで指導を受けられるクラブをさがしていました。富士フォトギャラリー銀座での写真展をみて、講師が山口先生のため、入会を希望しました。

私は被写体とじっくり向き合うため、いつも一人で撮影にいきます。人付き合いはどちらかというと苦手なほうです。

パソコンで目を痛め眼科に半年通ってからパソコン嫌いになっています。勤務時間中はしかたなくパソコンにさわりますが、プライベートでは全くさわりません。またガラケーからスマホに替えたばかりで、リモート例会にとっても不安がありました。通信テストがすんで不安が軽くなりました。

(文責：伊藤栄一)

#### 私のお気に入り撮影地

私のお気に入り撮影地は群馬県の西南端、長野県との県境にある甘楽郡南牧村です。

豊かな自然にあふれる南牧の山中には、南牧三名瀑のひとつであり、県の天然記念物及び名勝にも指定されている「線が滝」があります。

荒船自然歩道内、奥深い山のなかにあり、落差35メートルの滝の流れは、見るものを虜にする

美しさです。

南牧の大自然が感じられる神秘的な滝「線が滝」を紹介いたします。深い森林に囲まれた南牧村には10以上の多くの滝があります。

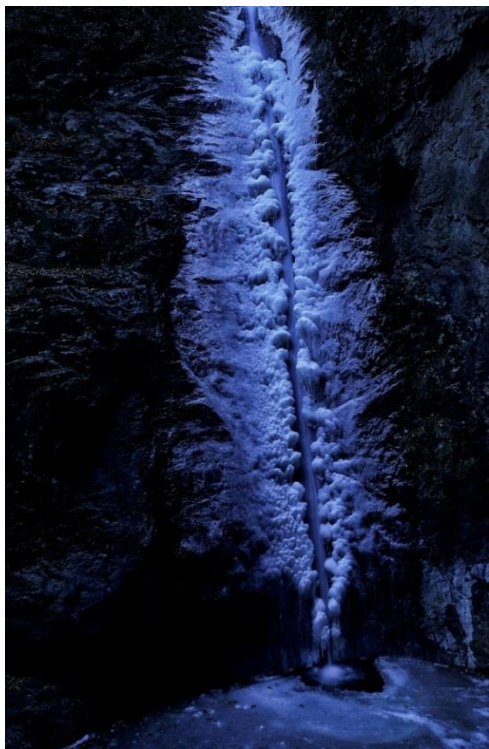
その中でも特に有名で見ごたえのあるのが、

「線ヶ滝」です。落差35m、白い一本のまっすぐな滝の流れが黒灰色の岸壁を流れ落ちる見事な滝で、一年中滝の流れが止まることはありません。

群馬県内の多くの滝のうち、「一番美しい滝は？」と聞かれたら、迷うことなくこの滝を上げます。落差もある。勢いもある。水量もある。

とにかく美しい。名前の通り、一本の線として、一糸乱れることなく、スーと落ちていく。

写真ではイマイチ伝わりにくいですが、行くとすぐにわかってもらえるはず。車のアクセスも良く、駐車場から螺旋階段を下りてすぐに到着。冬でも簡単にアクセスが可能でお勧めの氷瀑です。



「時を刻む」JNP 紙上コンテスト入選作品

この線ヶ滝がどのように形成されたのかは、次のように推定されるそうです。

滝を作る岸壁やその付近の地層は、秩父層群の代表的な岩石の一種である”チャート”からなっています。

このチャートはプランクトンの殻が堆積して固まった岩石で、火打石にも使われるくらい非常に硬いという性質を持っている反面、衝撃に弱く砕けやすいという性質も持っています。

滝を作る断崖のはじまりは、初期の頃は、線状ではなく幕状であったと推定されます。それが洪水時のように水量が多いときに川床の礫が動かされて滝を落下し、断層の出っ張った部分を砕きとります。

これを繰り返していくことにより、直線状の溝が形成され、現在のような黒灰色の岩壁を白い一条の直線を描いて落下する優美な滝を作り上げたようです。

この線ヶ滝に行く道順は、上信越道下仁田 IC より国道254号から県道45号に入り南牧村に向かいます。県道45号から県道93号、県道201号を進むと県道わきに線ヶ滝の案内板があります。下仁田 IC から45分程で到着します。まるで波紋であるかのようなグラデーションのまま凍る滝つぼ、この風景が舗装されている県道からわずか数分でみられるというのだから、お得感いっぱいです。是非南牧村で、冬季限定の氷瀑を楽しんでみてはいかがでしょうか。



「深山氷華」 四季のいろ入選作品

(文と写真：鈴木暎夫)

## 写友広場

昨年の本部関連のコンテストには、以下の方が  
入選されました。

2020年 JNP紙上コンテスト

- ・ 3席 鈴木暎夫（時を刻む）
- ・ 入選 高橋清（梅雨晴れ）  
中島幸男（緑の流れ）

2020年 四季のいろ

- ・ 入選 須加尾 浩（幻想の湿原）  
戸張 伸子（妖精の棲む森）  
山田 智一（厳寒の朝）

会員のコンテスト入選や個展、風景写真誌、  
フォトコン掲載などの情報がありましたらお寄  
せください。自己申告大歓迎です。

（文責 戸張伸子）

## 事務局より

本年から「支部だより」の編集担当を戸張伸子  
さんが引き受けてくれました。新鮮な感覚で、  
作成に取り組んでいただけるものと大変期待し  
ております。メンバーの皆様の多大な支援をお  
願い致します。

本年も「支部だより」は3~4ヶ月毎に1回の  
頻度で発行していく予定です。

支部だよりはメンバー同士の交流の場であると  
同時に、外部に東京支部の活動を知らせる任も  
負っており大事に育てていきたいと思いを。

### ■今後の予定

- 2月27日（土） 本部の定期総会
- 2月28日（日） 東京支部臨時役員会  
リモート開催
- 3月27日（土） 東京支部 定例研究会
- 4月9日~15日 JNP「四季のいろ」展  
富士フィルムフォトサロン東京にて開催

（文責：井上武夫）

## 編集後記

今年から「支部だより」を担当することになり  
ました戸張伸子です。山口さん、泉屋さん、  
戸張眞さんから引き継いで4代目となります。  
微力ですが支部だよりがさらに充実した紙面に  
なるように努めてまいります。ご協力よろしく  
お願いいたします。

さて緊急事態宣言の延長で雪景色の撮影がまし  
ます遠くなってしまいました。我が家は楽しみに  
していた1月の撮影の予定をキャンセルしま  
した。皆様は今冬をいかがおすごしでしょう  
か？

おりしも支部長から「20周年の写真展に向け  
東京の自然の撮影をしよう」との提案がありま  
した。まず身近な被写体を探してみようとカメ  
ラを持って近くの公園を散策し始めました。  
都会の中で見つけた自然もいいですし、また  
東京を感じさせるような人工物が入った自然も  
面白いのではないかと思いますがいかがでしょ  
うか？

2月になり梅が咲き始め、桜の季節はもうすぐ  
です。昨年の桜は緊急事態宣言のため都立公園  
まで閉鎖になり悲しい思いをしました。今年は  
そんなことになってほしくないですね。

ワクチン接種はもうすぐ始まるでしょう。

副反応は怖いと思いますが、ほとんどの人は  
1日でおさまるようです。くれぐれも体調の良  
い日に受けることをおすすめします。

早く自由に撮影に行ける日が戻ってきますよう  
に！皆様その日までどうぞお元気でおすごし  
ください。

（文責：戸張 伸子）